



オープンソース開発者の日本の社会での 価値を認めてほしい

中田真秀（なかたまほ）

理化学研究所 情報基盤センター

OpenOffice.org 日本語プロジェクト

自己紹介




- 理化学研究所：情報基盤センター勤務
- 専門：量子化学、理論化学（電子構造）、最適化、ハイパフォーマンスコンピューティング
- 博士（工学）
 - <http://accc.riken.jp/maho/>
 - Publication list, software, presentations...
- 高精度線形代数演算パッケージ MPACK 開発
 - <http://mplapack.sourceforge.net/>

2011/6/26

オープン CAE ワークショップ 2011 オープン
CAE 学会

自己紹介



- OpenOffice.org 活動  OpenOffice.org™
 - OpenOffice.org 日本語プロジェクト プロジェクトリード
 - <http://ja.openoffice.org/>
 - OpenOffice.org Quality Assurance project lead
 - <http://qa.openoffice.org/>
 - FreeBSD porting 1600€ (約 20 万円) by OOo community council (2009/1/8)
 - MacOSX porting and release engineering
 - 寄付 : Mac3 台 , HDD, MacOSX など多数

自己紹介



- FreeBSD 活動
- 2002 年から開発者
- おもに数値計算系
(BLAS/GotoBLAS/Scalapack/octave etc.)
+OpenOffice.org 系の ports のメンテ
- 2625 回コミット。28 位、日本人中 4 位。
- 二人のコミッターの mentor をした (一人は継続中)。

今日いいたいこと



- OpenOffice.org なんとかしたい。
- 日本の状況はかなり悲惨。
 - 貧乏自治体、企業向けのビジネス（それでも儲かってない）
 - プログラマー人位はフルタイムで雇えんか？
 - 企業や自治体はせめて一人くらい人を出して欲しい。
 - ODPG はよくわからん。
- いますぐなんとか、ではないけど、なんとかしなきゃならない、問題意識を持っていたら大成功。

中田のモチベーション

- GNU プロジェクトにお世話になっている。そこへ少しでも貢献したい。
- 当初 *BSD は安定、Linux は不安定だった。
- FreeBSD の ports のユルさが好きである。
- なんか大きなプロジェクトに参加できないか。



中田のモチベーション



- 自由とは何か。
- 日本語にコミットできないか？ 世界の中での日本語とは。
- マイナープラットフォームは救えるか。どういう利害があるか。
- プロジェクトの歯車になれるか。

オープンソース開発者の日本での価値を認めてほしい



- 中田はオープンソースで食えるか。
 - これだけで食べていきたいとは思わない。
 - 今までオープンソースを食い物にしていくら儲かったか
 - たぶん 100 万円以下
 - 同士 w たちからお金でなくて、物などがもらえることがある。
 - 本も印税安いね～

大変難しい

日本でオープンソース活動は はとても困難に見える。



- FreeBSD で生きてゆくのは難しい
 - コミッタがなかなか日本から出てこない ...
- OpenOffice.org で生きてゆくのは難しい
 - 財政難の人たちが使う (建前は立派そうだが) 。
- 富士通や NEC や日立が真剣に FLOSS の開発には取り組んでない。
- GotoBLAS2 の作者、後藤和茂氏は日本の企業にいない (Microsoft) 。

日本でオープンソース活動は はとても困難に見える。



- 親バレを恐れる
 - 上司に報告したら、推奨されるどころか、辞めろといわれるかもしれない。
 - 中田もバレました。が、こちらはいいとのこと（姫野龍太郎先生）。
 - だから匿名という人もいる。
- 打たれ弱い。
 - 2ch を気にしすぎ。
 - 意外と異常なメールは来ない（特定の人物からくる）

オープンソースで生きている人々



- Ruby
- Mozc (Google 日本語入力): アメコミで少し救われた。
- QEMU: 富士通の人がいる。
- PostgreSQL: NTT OSS センター
- Linux: 様々な企業が少しずつ。
-

OpenOffice.org の状況



- Oracle が 2011 年 4 月下旬、手放してから開発はストップ。
- Hamburg チームが開発
 - 巨大かつ圧倒的なパワー
 - 他企業、個人、ましてや日曜プログラマはなかなかついていけない
- 機能拡張要求はあまりにもたくさんある
 - どうすればいいのだろうか。

OpenOffice.org の日本の状況



- 自治体（県、市、町）単位で採用は進むが ...
 - 翻訳とかは会津若松意外一切手伝ってくれなかった :-(
 - 大抵は華麗にスルーされる。
- ライターの本はあまり売れてないと思われる
 - 増版がかかっていない。
 - 只でも入手できるから。
 - 昔ちょっと書いたら 1page 2000 円だったよ ...

OpenOffice.org の日本の状況



- 自治体（県、市、町）単位で採用は進むが ...
 - 翻訳とかは会津若松市以外、一切手伝ってくれなかった
 - アシストは数回 mailing list にメールくれたただけ ...
 - グッデイは長くコミットしてくれたが ...
 - 大抵は華麗にスルーされる。
- 本はあまり売れてないと思われる
 - 増版がかかっていない。ただでも入手できる。
 - MSOffice のテクニック、本が流用できる。
 - 昔ちょっと書いたら 1page 2000 円だったよ ...

OpenOffice.org の日本の状況



- ODPG という謎の団体 (検索してください)
 - 2010年9月14日、株式会社アシスト、NTT・コムウェア株式会社、住友電気工業株式会社および住友電工情報システム株式会社を発起人として OpenOffice.org & OpenDocument Format 利用推進グループ (OpenOffice.org and OpenDocument Format Promotion Group: ODPG) が設立された。
 - プレスリリースに OpenOffice.org 日本語プロジェクトを支援するという文言があったが、なにかよくわからない (中田はプロジェクトリード)。
 - こんなのはっかり。

OpenOffice.org の日本の状況



- ODPG という謎の団体（検索してください）
 - バグ報告とか、議論だけでもやってくれるとうれしかったのだが。
 - 翻訳もやってくれるとうれしかったのだが ...

輸入代理店のほうがもうかる



- まともにプログラムなど書くより、輸入代理店のほうが儲かる。
 - 雑誌への紹介記事、簡単な使い方の本
 - 翻訳記事はそこそこ儲かる。
 - 確かにまともにプログラムを書いても儲からない
 - コミットまでのハードルが高い。
 - オープンソースでやってもプログラマとしては認知されない。
 - 日本の FLOSS コミュニティ自体が文化祭、サークル活動の域を越えるものが殆どない。

改善には 何が必要なのだろうか

ちゃんとした大人が必要



- 飢えてない人々
 - 貴族は重要
- 不特定多数のコミュニケーションができる人
 - 自分の友達だけでキャパシティが越えることがある。
 - 自分より有能な人とコミュニケーションとり辛いことがある (何を言っているか解らないと、攻撃されていると感じる人が結構いる)。
 - 日本語圏以外にも目が向けられる。相対的に見られる。

企業、自治体の協力が必要



- 企業には、協力してというとあまりいい顔をされない。
 - コスト削減のみが強調されているので、協力せよというのはかなり難しい。
- 地方自治体も結構嫌がる
 - あまり仕事を増やしたくない。
 - 公務員は表に出たがらない。

コミットのハードルを低くする



- ソース、パッチなどを提出しても取り込まれるまで時間がかかる。
 - 中田は直接コミットした最初の日本人だが ... 非常に手間がかかった。
- 開発が複雑かつスピードが速く、ついてゆくのが困難。
- メンター不在。
- 企業向けのプロジェクトがそのまま見えているだけ。
- Apache に移行して、政治が変わったらなんとかなる ... かも。Wip

研究 / 論文になったり、就職に 有利したい。



- 日本語処理などで論文書いて、そこでコミットできないか。
- 学生への就職へのキャリアパスにならないか？
 - 実例を探しているところ
 - OpenOffice.org/FreeBSD で、日本ではみたことがない。
 - FreeBSD から Intel, Google, ベンチャーなどは多数いる。
 - Google は声をかけまくっている。
 - 有利 / 不利どちらのケースも聞いたことはあるが、よくはわからない。

まとめ



- 特に OpenOffice.org はとても社会の認知度が低い。
- 特に OpenOffice.org に対する日本の企業、自治体の態度が「使うだけ」しかない状況は危険。
- 認知度が低いので、参加者も今後増えにくいと予想される。
- 学生向けにキャリアパスが作れないだろうか。
- 問題意識を共有してもらえると、今日の講演は成功。